2026年度 2学期 課外授業ゼミ

宮城学習センターでは、学生同士の交流や直接教員から指導を受けられる貴重な学び場として、演習形式の課外授業ゼミを開講しています。

受講希望の方は、4ページの「課外授業ゼミを申し込まれる皆様へ」を確認の上、右 QR コード（Google フォーム）よりお申込みください。先着順で受け付けます。
宮城学習センターウェブサイトにも、Google フォームを掲載します。1つのフォームから複数のゼミを申し込むことができます。受付期間内であっても、定員になり次第、締め切ります。

お申込み時に以下の①～③をお知らせください。
①ご希望のゼミ名　②お名前　③学生番号

受付期間　10月23日（金）9:30～10月31日（土）17:30

急な休講や日程変更がある場合がありますので、キャンパスメールやセンターウェブサイトを確認の上、ご自宅を出発してください。



疫学入門　村澤 秀樹 先生

日時：第2・4金曜日 10:30～12:00

初回：11月13日（金）
定員：25名

疫学は、集団における健康に関連した状態や事象の発生と分布に関する学問で、保健医療の根拠を形成する学問です。このゼミでは、疫学の入門書を一緒に読むことで、そのアウトラインの理解を目指します。
数式をほぼ使用していないテキストを用いますので、読み物を読み進める感覚で受講してください。

【学生自身が用意するもの等】
テキストは初回のゼミから持参してください。
ロドルフォ・サラッチ著「読んでわかる！ 疫学入門」、大修館書店
ISBN：978-4-469-26858-4

社会学の考え方を学ぶ　高木 竜輔 先生

日時：第2・4金曜日 15:00～16:30

初回：11月13日（金）
定員：25名

このゼミでは、社会学の入門的なテキストを読むことを通じて、自らが所属している「社会」について深く考えていくことを目指します。
社会学は、人と人とを結びつける社会のしくみについて考える学問ですが、そのことを通じてわれわれが生きている社会についても考えていく学問でもあります。社会学の考え方を理解し、そのことから皆さんが生きている/生きてきた社会とは何だったのかについて、みなさんとディスカッションしていきたいと思います。

【学生自身が用意するもの等】
宮内泰介「社会学をはじめる-複雑さを生きる技法」ちくまプリマー新書
ISBN：978-4-480-68486-8

日本の仏教美術を考える　長岡　龍作　先生

日時：第2・4水曜日
10:30～12:00

初回：11月11日（水）
定員：16名

　このゼミは、日本の仏教美術への理解を深めるための場として開講します。教員からは、仏像・仏画・絵巻物などの、日本の仏教美術の内容とそこに込められた信仰と思想について説明します。
　参加学生からは、それぞれの興味に従って仏教美術を取り上げ、その内容と背景について発表してもらいます。発表は毎回二人を予定していますので、半期で発表可能な人数を定員とします。

【学生自身が用意するもの等】
　発表に際しては、パワーポイントなど画像を提示する準備のできることが望ましい。
　発表方法については事前の相談を受け付けます。

アイトラッキングを用いた心理学実験　和田　裕一　先生

日時：第 1・3 土曜日
15:00～16:00

初回：11 月 7 日（土）
定員：20 名

　視線の動きを計測するアイトラッキング技術を用いた心理学実験を考えるゼミです。参加者はいくつかのグループに分かれて、グループ内でディスカッションしながら一つの研究テーマを立案し、実験計画を作成します。最終的には、実際にデータの取得と分析までを行うことを目指します。
　本ゼミの参加者には、グループディスカッションに積極的に参加する姿勢が求められます。

【学生自身が用意するもの等】
　放送大学宮城学習センターの Wi-Fi に接続できるノート PC

古文書から読む宮城の歴史～伊達政宗の絶縁状～　川内　淳史　先生

日時：第1・3 木曜日
14:00～15:30

初回：11 月 5 日（木）
定員：25 名

　このゼミでは、身近な地域に残された歴史資料を読み解きながら、当時の社会について学んでいきたいと考えています。
　今回のテーマは、江戸時代初期に伊達政宗が浅野長政に送った「絶縁状」です。当時書かれた古文書の写真版（コピー）を受講者と一緒に読み解き、豊臣政権下での大名間の政治関係や、当時の権力構造について学んでいきたいと思います。
　ゼミで読むテキストについては、こちらで用意いたします。比較的読みやすいテキストを用いますので、古文書解読の経験の無い方も大歓迎です。また、受講者に事前に崩し字を読んできていただいた上で、内容の解説を行いますので、予習を通じて当時の言葉遣いにも親しむことができます。初めて古文書に触れる方も、ぜひご参加ください。

【学生が用意するもの等】
授業に使用するテキストは、こちらで用意します。必須ではありませんが、古文書学習にあっては辞書が手元にあると便利です。用意される場合、以下をオススメします。参考文献としては以下のテキストがあります。（当日用意する必要はありません）
児玉幸多編「くずし字用例辞典　普及版」（東京堂出版）
【備考】
　参加者には各自、解読箇所を割り当ての上で発表をしていただきます。発表の仕方および担当日については、初回のゼミの際に説明をいたします。

西洋哲学・倫理学の古典を読む　村山 達也 先生

日時：木曜日（月２回）
16:00～17:00

初回：11 月５日（木）
定員：15 名

西洋哲学・倫理学の古典の日本語訳を、一冊あたり四～六回かけて読みます。予備知識は不要です。むしろ、予備知識がないときにどのように本を読むか、というのも、ゼミのテーマの一つです。

各回とも、一～二時間程度でできる簡単な宿題をお出しします（その宿題をしていただくことで、今期のゼミが終わるまでに、課題本をそれぞれ二～三回程度通読していただくことになります）。やっていなくてもご出席いただいて構いませんが、やっていただいた方が学べることは多いはずです。

初回は、ゼミの進め方をお話しする予定ですので、何も準備していただく必要はありません。

【学生自身が用意するもの等】
今期は以下の二冊を読む予定です。各自でご購入ください。
・デカルト『方法序説』谷川多佳子訳、岩波文庫
ISBN:978-4-003-36131-3
・J.S.ミル『自由論』斉藤悦則訳、光文社古典新訳文庫
ISBN:978-4-334-75250-7

【備考】
本務校の会議の関係で、開催週が月ごとに一定しません。
予定は初回にお知らせします。

「地球と宇宙のサイエンス」　小原 隆博 先生

日時：第 1・2・3 水曜日
14:00～15:30

初回：11 月４日（水）
定員：25名

一学期に引き続き、「地球と宇宙のサイエンス」ゼミを開講します。新しい方の参加も大歓迎ですので、興味のある方はぜひお気軽にご参加ください！

・担当教員からの話題提供
現在は『大宇宙 123 の謎』からいくつかのトピックを抜き出してゼミを行っています（年度末ごろに終了予定）。

・受講生による自由発表
皆さんが「地球」や「宇宙」に関して不思議に思うテーマを自分で選び、調べた結果をいつでも発表することができます。

ゼミ参加者全員で発表結果を共有し、「地球」と「宇宙」の理解を深めていきましょう。

魚を知ろう　片山 知史 先生

日時：第3金曜日
10:30～12:00

初回 11 月20 日（金）
定員：25 名

魚は、日本の食に欠かせない存在ですが、野菜や家畜と違い、野生生物です。進化を経て環境に適応した体の形と仕組みを有しています。しかし、水中で生活するための体の仕組みや、その生態はあまり知られていません。

本ゼミでは、毎回異なる身近な魚種をいくつか取り上げて、わかりやすく形態・生態を説明します。さらには、食材としての特徴についても触れますので、ゼミ終了時には「魚通」になっているかもしれません。

① 11月 シーラカンス サメ　② 12月 ウナギ アナゴ
③ 1月 サケ ワカサギ　④ 2月 スズキ ヒラメ・カレイ
⑤ 3月 サバ イワシ

【学生自身が用意するもの等】 ありません。資料は配布します。

課外授業ゼミを申し込まれる皆様へ

・課外授業ゼミは授業ではありません。したがって単位にはなりませんのでご注意ください。
・授業形態は講義室での対面形式です。
・受講当日は、宮城学習センター２階出入口に掲示している「本日の部屋割り」で教室をご確認いただき、そのまま教室へ入室してください。
・受付期間より前の期間に連絡をいただいても、受付いたしません。必ず受付期間内にお申込みください。
・課外授業ゼミは、毎学期ごとにお申込みが必要です。お申込みしないで参加すると、定員が埋まって参加出来なくなったり、休講や日程変更の連絡をお送りすることが出来ません。
・単位認定試験期間中（2027年１月17日（日）～１月25日（月））のゼミは、休講となります。
・事務室では、複数ゼミの参加を制限していませんが、時間帯が重なるゼミへ参加する場合は、早めに退室する、少し遅れて参加する等、ご自身で判断の上、受講してください。

休講や日程変更があった場合は、この「課外授業ゼミ」をクリックした先のページに掲載します。
※センターの事務室窓口前掲示板にも掲示します。



キャンパスメールについて



WAKABA のトップページからクリックしてキャンパスメールを確認できます。
ログイン画面が出てくることもありますが、その場合は WAKABA と同じパスワードでログインしてください。

宮城学習センターからゼミに関するメールを送る場合はキャンパスメールへ送信します。
キャンパスメールへは、センターからだけでなく、大学本部からも修学関連の連絡を随時送っています。普段からキャンパスメールを確認していただきますよう、お願いいたします。 確認方法が分からない場合は、事務室までお問合せください。

※キャンパスメールに届いたメールを、普段ご利用のメールアドレスへ自動転送することができます。設定方法は、システム WAKABA「キャンパスライフ→附属施設・情報システム」でご案内しております。